

研究課題名：ICUにおける栄養カンファレンス開始による患者アウトカムの変化

所属（診療科）：栄養科

研究責任者（職名）：宮城 朋果（管理栄養士）

研究期間：2018年5月倫理委員会承認日～2018年6月30日

研究目的と意義：

2016年に日本版重症患者の栄養療法ガイドライン、翌年には病態別栄養療法が作成されるなど重症患者に対する栄養療法への意識は高まってきている。その一方で栄養状態の評価で未だ確立した指標は無く、栄養療法の介入による患者予後の改善も証明されていない。当院の特定集中治療室（ICU）は、8床から成る、術後の全身管理が必要な患者を扱うICUである。ICU専任の集中治療医赴任に伴い2017年7月からICU入室中の全患者を対象に毎週月・木曜日に集中治療医師・ICU看護師・管理栄養士の3職種が集まり栄養カンファレンスを開始した。今回は、栄養カンファレンスによる早期経腸栄養開始及び一定期間をかけたfull feedingの達成度について検討した。

研究内容：

- 対象となる患者さん：2016年12月1日～2017年2月28日と2017年12月1日～2018年2月28日にICU在室日数が7日以上かつ在室中に経腸栄養を開始した症例
- 利用する情報・資料：年齢、性別、病名、診療科、ICU入室時SOFAスコア、ICU入室期間、身長、体重、臨床検査値、投与栄養量など
- 研究方法：本研究は後ろ向き観察研究であり、入室後経腸栄養が開始されるまでの期間、入室7日目における目標値に対する投与熱量、タンパク量充足率（いずれも100%を充足と判断）について栄養カンファレンス開始前後で比較検討した。投与熱量及び蛋白量の目標値は、ガイドラインの推奨を基に腎機能障害なし、腎機能障害ありかつ透析なし、腎機能障害ありかつ透析導入中のそれぞれ3群に分類した。尚、投与経路や投与内容は個々の症例を栄養カンファレンス内で検討し方針を決定している。

問い合わせ先：

氏名：宮城 朋果

住所：〒238-8567 神奈川県横須賀市上町2-36

電話：046-823-2630 Fax：046-827-1305

受付時間：月～金曜日 9：00～17：00（土日、祝日・祭日を除く）